

デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

あきペットクリニック

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

A) 労働生産性の向上

DR装置の導入により、画像の表示までの時間が大幅に短縮されます。最新のデジタル技術を利用することで、院内の労働生産性が向上します。

B) 見える化の推進

DR装置により、これまで精度が低く視覚的な理解が困難だったレントゲン画像を、デジタル技術を活用して飼い主の方々に直接目で見て理解していただくことが可能となります。その結果、より深い理解を得た上で治療を進めることができ、インフォームドコンセントを徹底します。

C) 安全性の向上

医療現場において、安全性を向上させ医療ミスの可能性を極限まで低くすることは、レピュテーションリスクを低減するためにも非常に重要です。デジタル技術により術中の作業を自動化することで、人為ミスがなくなり、安全性が向上します。

2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、高度ながん検査・エキゾチックアニマルの検査を提供する動物病院へ」

当院は本事業を通じて画像診断検査に特化した処置室を導入します。本処置室ではデジタル技術を用いた設備を導入し、高度な医療を提供します。デジタル技術の活用により当院内と患畜、飼い主様にとって多くのメリットを持ちます。顧客満足度の向上によって患者数が増加し、経営面で弊社に寄与します。

3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- がん検査・エキゾチックアニマルの検査以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化する教育
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

4. 戦略推進のための組織体制

